

今年の夏も暑い予報！ しっかりと穂肥ができるように 早めの中干しで、過剰生育を防止して品質向上！！

～ 重点事項～ 〔適正な生育量(茎数・籾数)を確保するために〕

- ◎ 中干しの開始が遅れないよう、田植え 25 日後頃に生育状況を確認する。
- ◎ かん水・排水を効率的に行うため、溝切りを「確実に」実施する。
- ◎ 中干しの時期には、取りこぼしたヒエや多年生雑草を防除する。

- ・ 田植え後は、活着したら 2～3 cm のやや浅水で管理し、分けつの発生を促しましょう。
- ・ 地温の上昇とともにワキの発生が多くなったら、夜間落水などでガス抜きを行い、生育停滞を防ぎましょう。(詳しくは、岩船米づくり情報 No. 2 をご覧ください。)

* 茎数が確保できたら(確認したら)、中干し・溝切りによる生育調節を開始します。

1 中干し・溝切り ～早めの茎数確認で遅れずに実施～

- ・ 籾数が多いほど、登熟期間の高温など異常気象の影響を強く受けます。
- ・ 早めの中干しで過剰な生育(茎数)を抑えるとともに、下位節間の伸長を抑え、倒伏軽減を図りましょう！

(1) 中干し開始のめやす

- 中干し開始のめやすは、おおむね田植えの 1 か月後です。生育が進んでいるほ場や 茎数が増えやすいほ場などでは、田植え 25 日後頃に生育状況を確認しましょう。

〔コシヒカリの中干し開始時期のめやす〕

目標穂数(350本/㎡) に対する割合		茎数	
		(本/㎡)	(本/株)
一般的な ほ場	7～8割	245～280	(50株) 16～18
			(60株) 13～15
過剰生育と なりやすい ほ場	6～7割	210～245	(50株) 14～16
			(60株) 12～13

○開始時期○



×これでは遅すぎる×



- 中干しが遅れると、
 - ① 幼穂形成期以降の葉色が褪めにくなるため、節間が伸びて倒伏しやすくなります。
 - ② 生育(茎数)過剰となり、乳心白粒等の未熟粒の割合が増加して品質低下を招きます。
- 茎数が少ないほ場でも、極端に分けつの発生が遅れていなければ、田植え 1 か月後頃には中干しを実施しましょう (本格的な梅雨入り前に中干しの効果を高め、地耐力を確保する)。

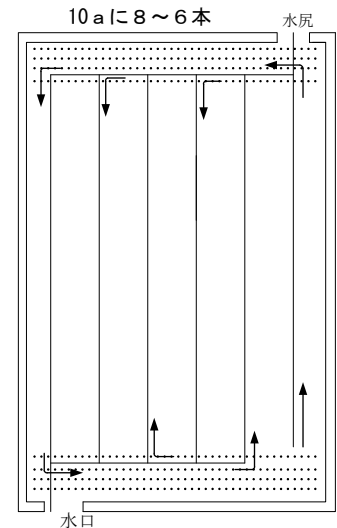
生育に応じた早めの中干し実施で、過剰生育を防ぎましょう

(2) 溝切りの実施について

- 中干し効果をもとめるため、溝切りは確実にまいましよう。
- 溝切りは、溝の深さを 10 cm 以上として、接続部分を手直しするとともに、末端は必ず水口及び水尻につなぎましよう。

(3) 中干し終了の目安

- 中干しは田面に小ひびが入り、軽く足跡が付く程度までまいましよう。
- 根を広く張らせて登熟向上を図るために、出穂 1 か月前までには中干しを終了し、間断かん水～飽水管理に移りましよう。
- 砂質土壌や地力の低いほ場では、弱めの中干しとまいましよう。



＝中干し・溝切りの様々な効果＝

- ① 無効茎の発生抑制による適正生育量の確保
- ② 下位節間の伸長抑制による倒伏軽減
- ③ 土壌への酸素供給による根の健全化
- ④ 収穫時の機械作業が容易な地耐力の確保
- ⑤ 作溝によりフェーン等の緊急時の迅速なかん水が可能
- ⑥ 作溝により秋の長雨による停滞水の容易な排水が可能



中干しの強さは、小ヒビが入る程度（写真のヒビ程度）。

2 病害虫の徹底防除 ～いもち病の予防は万全に～

- ほ場周辺の補植苗は、葉いもちの発生源となるので、早急に除去ましよう。
- こしいぶき等いもち病抵抗性が中程度の品種でも、予防薬剤を育苗箱施用していない場合、6月上旬をめやすに予防粒剤を本田に散布し、葉いもちを防止ましよう。

3 適切な畦畔管理 ～カメムシ類の繁殖場所をなくそう～

- カメムシ類は、休耕田や農道・畦畔などの雑草地で増殖まします。特にイネ科雑草が繁茂しないよう、定期的な草刈りが必須です。
- 雑草が結実しないような間隔（夏期は 20 日間程度）で草刈りをまいましよう。

～6 月中下旬と 7 月中下旬は、草刈り重点推進期間～

4 後期雑草防除 ～取りこぼしや難防除雑草を効果的に防除～

- 残草が目立つほ場では、中後期除草剤を活用して除草を徹底ましよう。特にヒエやホタルイの除草は、最も被害の大きいアカスジカスミカメによる斑点米の発生防止に有効です。
- 砂質土壌で減水深が大きく、一発処理除草剤の効果が低いほ場では、落水して雑草に直接散布する除草剤の使用が効果的です。

* 農薬の使用前に、最新の登録状況を再確認し、適切に使用ましよう。



生育速報や技術情報は、定期的に村上地域振興局農林振興部のホームページに掲載ましています。左の QR コードからでも読み込めますのでぜひご活用ください。

